

PTAだより

令和4年2月発行

PTA会長 中出 弥則

「非行被害防止講座」を終えて

1月27日(木)に、5・6年生児童と保護者代表としてPTA会長・PTA 副会長・児童育成委員長が参加し、「非行被害防止講座」が行われました。石川県教育委員会 小松教育事務所指導主事 小梁光史氏を講師にお招きし、「考えよう！ゲームやインターネットとの向き合い方」と題して、講話をして頂きました。

そのお話を受け、各家庭で児童の感想をもとに「メディアとのつき合い方」や「家庭でのルールづくり」など話し合いました。



～ 5・6年生児童 & 保護者の感想 から～

今日、ネットなどでいじめや犯罪が起こることが分かりました。これから、いじめにつながるようなことを言わないようにしたいです。アンケートで4つ当てはまってゲーム依存症の傾向があると分かったので、気をつけてゲームをしたいです。

インターネットは一歩ふみまちがえると、大きなトラブルになることが改めて分かりました。それを防ぐためには、インターネットのルールをお父さん、お母さんと決めて、確認していくことが大事だということも分かりました。家で、インターネット、ゲームの使い方を見直していきたいです。

ゲームのルールを決め直そうと思いました。フォートナイトのボイスでのいじめがあることを知りました。私もゲームで暴言を吐く時があつていじめにつながるから気をつけたいと思いました。ゲームを1時間だけだったら、頭にえいきょうがないと分かりました。勉強2時間ゲーム4時間の人と勉強30分ゲーム1時間の人だったら点数が高いのは、勉強30分の人だと知りました。おどろきました。

ネットはいいことがある反面、怖いこともあると分かりました。ネットは軽率な行動で大きな事態を招いてしまうから気をつけたいと思いました。ネットは依存症になってしまう危険性があると知って、今日から気をつけようと思いました。ネットをやり過ぎると視力が悪くなるだけでなく脳が小さくなると知ってこわいなあと思いました。ネットを使う時間をしっかり決めて使うことを意識したいです。ネットは使う時と使わない時のメリハリをしっかりとつけて生活していきたいなと思いました。

スマートフォンなどはまだ持たせていませんが、ゲーム機でインターネットにつながっています。やはり親がしっかりと見ていかなければならないと考えます。まずは、ゲームの時間や動画を見る時間をしっかりと決めなければと思います。

今回、あらためてルールの見直しを3人で話し合いました。「オンラインでのゲームはしない」「SNSは利用しない」「ゲーム、ユーチューブを見る時間を決め、守る」お互いが納得できるルールになりました。子供だけに守らせるのではなく、私達もスマホ、PCに向き合う時間を減らすことにしました。家族で決めたルール、守っていきましょう。

講座を受けて帰宅した時に、ゲームばかりすると色々な悪影響があることを教えてくれました。私もそれを聞いてこの講座を受けたかったと思いました。本人も今までのゲーム・インターネットの時間を見直すきっかけになったのではないかと思います。家族で話し合いたいです。

時々、このような講座を聞けることがとても大切だなと思います。その度に危険性などを知る事ができて、子供にとっても良い時間になったと思いました。自分で考えて、時間などネットとの距離感を見つけてほしいです。

非行被害防止講座を聞いて、ゲーム依存にならないために、「時間をコントロール」ということが心に残りました。自分で時間を決めて、自分でやめるということが大切だと感じました。また、オンラインゲームやネットのやりすぎは脳が小さくなり、その影響で簡単に頭に入ることでも、全く入らなくなるなど悪い影響ばかりだと思いました。なので、時間をコントロールすることを大切にしたいです。

講座を聞いて意識することができて良かったです。ゲームは楽しいだけでなく悪い影響があるということを知ることができて、これから自分でも考えて行動できると思います。

ゲーム依存については、1～4年生にも聞かせてほしいなと思いました。

非行被害防止講座を聞いて、「依存」はこわいものだと思いました。とくに心に残ったのは、「依存」は脳などの体や勉強など、いろいろな所にえいきょうが出るということです。また、中高生で依存症になっている人は、「7人に1人」いるということを知って、とてもたくさんの方が依存になっているなとびっくりしました。これから、インターネットは、1時間以内にして、使いすぎには注意し、依存にならないようにしたいと思いました。中学校へ行ったら、時間があまりないので、時間を大切にしたいです。

我慢したり、自分のことをしっかりコントロールできるようにしたりすれば「依存」にはならないよ。体を動かしたり、お友達とお話したりする時間を大切にすることも「依存」しない1つの方法かもしれないね。「自律」できるようになってください。

～ 参加された方からの感想 ～

今回初めてフォートナイトが子供たちの中で流行っていることを知りました。ゲームの中で使う言葉があったのも初めて知り、現実世界では使わないで欲しい言葉がたくさん出てきて驚いています。子供たちには、ゲームの世界と現実世界がきちんと理解出来る様に、今後コミュニケーションをとって行きたいです。

何年も前から、ネット依存の問題は聞いていましたが、男女によって依存の仕方が違う(男子→ゲームなどでの勝ち負け、女子→人間関係・つながり)ことを知ることができました。また、アルコール中毒と同じような脳の異常があると聞いて怖いと思いました。

短い時間でしたが、よい内容の話を聞けました。ありがとうございました。
ネット依存の魔人の現状、写真を子ども達に見せると、インパクトがよりあると思いました。

親としてネット依存についての危機感を持って良かったです。
スマホやオンラインゲーム等に潜む怖さを、健康面と社会面の両方から学ぶことができました。特に、ネット・ゲーム依存の脳の萎縮はアルコール依存と同じである、ということが衝撃的でした。
また、先生が質問回答の中でお話されていた「ネット依存かも?」と思った場合、疾患として医療(心療内科)において支援、治療を受けられる点について、教職員、保護者、児童に広く知ってもらいたいと思いました。

これから夏休み、冬休み、春休みに入る前に、「テストの点数に影響がでます」「依存症になります」など、ゲーム、ネット時間の徹底啓蒙活動を宜しくお願いします。

子どもたちから話の中でよく出てくる、フォートナイトの画面を今日初めて見ました。子どもたちが日々触れているゲームやサイトについて知るアンテナを張りたいと思いました。